

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）定時制

学校番号	70	学校名	静岡県立浜松北高等学校・定時制	記載者	松野 立
------	----	-----	-----------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基礎学力の確実な定着と思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ力の育成を図るため、継続して授業改善に取り組むとともに、探究活動の充実を図る。	「授業を通して基礎学力が身についた」と思う生徒が95%以上	C	B	・3つの小項目（計画的な学習、課題意識、図書館や情報機器等の活用）でアンケート調査の結果が大きく落ち込んだが、学年ごとの違いや昨年度在校生の経年比較はどうか。また、理由をどう考えて改善を図っていくか。 ・80%以上は素晴らしいこと。 ・前年に比して、生徒アンケートの結果に低下の傾向が見受けられる。従前と変わらない指導が行われているとすれば、在校する生徒らの資質の問題である可能性もある。しかし、従前と指導の仕方が変わったところがあるとすれば、その点に問題があるとも考えられる。いずれにしろ原因を分析して改善する姿勢が求められる。 ・先生が『生徒一人ひとりをよく見て』『わかりやすく教えてくれる』ので、生徒もそれに応えて、勤勉に授業に取り組んでいる様子が伺えます。 ・学習に熱心な生徒の率が低いのは必ずしも学校側だけの責任ではないと思う。
		「先生は授業中に生徒一人一人の様子をよく見ている」と感じる生徒が95%以上			
		計画的に粘り強く学習に取り組んだ生徒が90%以上			
		自ら課題意識を持って取り組んだ生徒が60%以上			
		図書館や情報機器等を利用して、意欲的に学習活動に取り組んだ生徒が80%以上			
イ	学校生活の意義を理解させるとともに、集団における役割を果たすことを通して、社会性や自己肯定感の向上を図る。	学校生活に真面目に取り組んでいる生徒が90%以上	B	B	・本校入学前の状況を踏まえれば、一人一人の生徒はよく頑張っていると思われる。自己肯定感や社会性がさらに高まるよう、日常での指導や外部との接触の機会の確保をお願いしたい。 ・評価以上です。 ・まずもって、自己肯定感
		「人との係わりが増えた」と思う生徒が90%以上			
		自分に対して自信を持っている生徒が90%以上			

					の涵養が重要と考える。この点、概ね指導が奏功しているように見受けられる。が、やはり概して前年に比して生徒アンケート結果は振るわない。この点、アと同様の姿勢を期待したい。 ・自己の向上心が高く、自立心の強さも伺えてとても頼もしく感じます。 ・学校側の自己評価は妥当。
ウ	社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育を推進する。	目標を持って学校生活に取り組んでいる生徒が90%以上 ポートフォリオの作成が、自分を振り返る機会になっている生徒が90%以上 将来の在り方や生き方について具体的に考えることができた生徒が80%以上	B	B	・アンケート調査では、目標を持って学校生活を送っている生徒の割合が大きく低下しているほか、進路に関するアンケート調査項目の結果がいずれも前年を下回っているが、日常の学校生活や個人面接での感触などはどうか。 ・全日制以上の充実が期待されるところとも思われる。地域人材を講師とする教育活動を持続することに加え、SSTの研修等（既に実施されているのかも知れないが）より一層の充実を図ることも一案と考える。 ・大谷翔平さんの目標達成シートが話題になりましたが『目標をもって学校生活に取り組む』ようなご指導、働きかけを期待します。 ・学校側の自己評価は妥当。
エ	生徒指導の充実を図り、生徒との信頼関係を築くことで、安心・安全な学習環境を整える。	悩みを相談できる人がいる生徒が100% 学校生活を通して人間関係の築き方を学ぶことができた生徒が90%以上 「学校は病気やケガ等の防止対策、発生時の対応が適切で安全だ」と思う生徒・保護者が90%以上 問題行動による生徒指導件数が0件	B	B	・悩みを相談できる人がいると回答した割合は若干低下したが、信頼できる先生がいると回答した割合は高く、生徒との信頼関係は構築できていると考えられる。 ・「悩みを相談できる人がいる生徒が100%」「問題行動による生徒指導件数が0件」は大いに評価される。困難な場合もあると思うが、保護者等、家庭との連携がより一層の向上の要点のひとつと考える。 ・『信頼できる先生がいる』92%は素晴らしい。既に良好

					な関係が築かれているように思います。中途退学者はどのくらいいるのでしょうか？それぞれ事情は異なるでしょうが、是非とも卒業まで伴走していただきたい。 ・生徒側のアンケートで「悩みを相談できる人がいる」に「はい」と答えた率が前年度より低くなっているのが気になる。
オ	地域人材を講師とする講演会や公開授業等を通じて、地域・保護者の定時制教育への理解を図る。	地域人材を講師とする教育活動を年 20 回以上実施。 「学校は子どもの能力を向上させるよう指導している」と感じる保護者が 90% 以上 「北高定時制に入学させてよかった」と思う保護者が 90% 以上 学校を信頼している保護者が 95% 以上	B	A	・保護者から見た子どもの教師への信頼感や、保護者自身が学校へ気軽に連絡・相談ができると回答した割合が低下しているが、保護者との面談での感触などで気がついた点などはないか。 ・保護者に頼られていることは素晴らしい。 ・先に述べたとおり、地元企業の代表者や担当者の講話が「キャリア教育」にも資するところあると考える。また同じく、先に述べたとおり、保護者との連携を図ることが、生徒指導の充実や安心・安全な学習環境の整備にも資するところがあると考え。 ・地域人材を講師に 24 回もの教育活動を実施したことは、充実したキャリア教育になったことでしょう。保護者が学校行事を参観できる機会を設けたことは、生徒・保護者との信頼関係の構築に大きな効果をもたらすのでは。(これまで参観の機会がなかったのが意外です) ・学校側の自己評価は妥当。
カ	業務の精選と効率化を進める。	業務の精選・改善・効率化を提案または実践した職員が 85% 以上 自身の役割を理解し、協力して取り組むことができた職員が 85%	B	B	・職員自身による改善等の提案・実践率は高い一方、ワークライフバランスの実現に取り組んでいるとする割合が低いのはなぜか。 ・これらの点について、より一層教員らの意識を涵養

		ワークライフバランスの実現に取り組んでいる職員が85%以上		することが、生徒指導の充実にも資する考える。 ・職員同士の関係はとても良さそうですね！なによりです。 ・定時制の教員は夜間の業務だけにご苦労が多いと思います。生徒と向き合う時間も全日制より多いはず。健康管理に気をつけてください。
--	--	-------------------------------	--	--